

小林地区

地についた月給農家

報われた主婦たちの努力

昭和三十四年七月小林農協では、上、下木山三十二世帯の農家をモデル・ケースとして実施しました。それから四年、いまでは農家組合部、十四のうち十二部がはいる一六三世帯に増え、ここにサラリーマン農家地区ができました。

農家の月給制というのは米価が頭打ちとなって収入は限度に達し、支出が農具の機械化、生活の向上などで増大し、生活のバランスが失われがちです。そこで無計画に使用していた生活費を計画的に月に一定額を渡して、予算生活をするようにして、収入を確保し、農家経済を安定させようとするのが目的です。

むだをばいいて  
予算生活  
農家の月給制はまず「くらしの設計書」を作り一年の

予算を立てます。これには一年の収入計画額を算出し次に一年の支出予算をくむ、ここは農協などの借入金、税金、土地改良費などの租税公課、肥料や農薬代などの生産費（毎月差引く）、交際費や被服代などの特別家計費（必要のとき現金で払戻す）、大農具や保険料などの財産支出費と生活費——これが月給で毎月二十四日現金で配達されます。

また一年間の「くらしの設計」を作る時、収入から支出の総計を差引くと年間どれくらい足りるか足りないかわかります。借入金の多い人は三年計画で解消し、また収入がどうしても足りない人は裏作や出稼などで収入を補うよう農協では指導します。

家庭がみんんで  
予算を立てる  
サラリーマン農家の実態に



「ハイ月給」農協の職員がのき先で月給を配達

住民登録の実態調査を実施

調査員が各家庭を訪問

戸籍は身分関係を、住民票は居住関係をあらわす公式の証拠となるものです。住民登録は市役所へ、その住民を登録することによって、住民の居住関係が公式の

証拠となり、選挙、保険、印鑑証明などと、わたしたちの日常生活の基礎となる重要なもので、各種行政事務に広く使われるものです。

市では九月十五日現在を基準として、住民登録を基

鷺ノ木の水門

市の最北端、市の中央を縦貫する排水幹線、大通川の流末に昭和三十二年、新しい水門が設けられました。いよいよ近代的なコンクリートの作り

の水門が見え、従来のレンガ作りのものに比べて、デラックスの水門です。

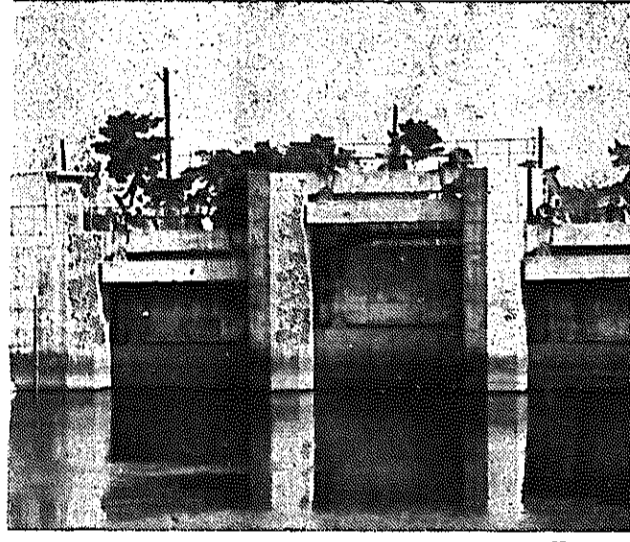
この地域は白根市四千七百八十八ヘクタールの自然排水吐き口です。古くは江戸時代に



木造水門が、明治時代には東西の三カ所にレンガ作り水門が設けられていました。いまも上郷排水機の下手に面影を一部残しています。

近年は中ノ川の水位が高くなると、この水門では自然排水がほとんど不可能な状態を短時間でできるだけの大量の流水を落とす必要に迫られました。昭和二十七年ごろより大通川改修と水門の改造を国に運動し、大通川水門先の伸長工事、堤防強化、川底の掘下、通水断面の拡張を国に要望しました。

昭和二十九年竣工費二千八百七十三万円興営で着工、三年後の昭和三十三年に完成しました。この水門は、二千五百四十六ヘクタールが大通川に排出する水を信濃川に放出するもので、通水職員五十三



威容を誇るテラックス水門

門、開閉は五馬力三台のモーターによりコンクリートの門扉を巻き上げます。排水能力は毎秒一、二九六立方メートル、一時間には四千六百六十五トンの水が放水されるわけです。しかしこれも信濃川の水位が大通川の水位より低いときだけの話で、信濃川の水位が高くなればかえって大通川に逆流して、水門を閉じなければならぬのです。

だから豪雨が長びき信濃川が減水しない場合、頼れるのは、わずかに上郷排水機だけです。しかし上郷排水機では老朽化した百三十五馬力二台と三十五年に完成した三百八十馬力一台のものだけでは、排水が間に合いません。排水機を二台に増やし、排水を休止して大通川に落水を極力セーブしなければならず、上郷排水機を改修し増馬力しなければ、豪雨時は市の北部は洪水の危機が、大通川の破壊、浸水の懸念も予想されます。

鷺ノ木水門が完成したことは大通川改修を実施しなければ効果がないというもので、その基礎をつくったものといえ、今後の工事を早めるものと期待されます。

子どもの学習が単元学習や問題解決学習、プログラム学習と親たちにわかりにくい点が多くあります。家庭での学習について「母と女教師の会」より問題点をとりあげてみました。

①先ず子どもをよく知ることで、その子どもの能力や興味を先ず問題で、この小学三、四年生は基礎になるものが多いので、しっかり身につけておくべきです。親がそばについてやるのもよいのですが、依頼心が強くなりかえってマイナスです。一人でやる習慣をつけ、ときどき質問したり、本、ノートを見て、その理解の深さをとらえることです。

②自分から勉強しようという気構えをつくること。家庭学習は自発的にやるようにしたいでしょう。予習も復習も子どもの能力や興味を先ず問題で、この小学三、四年生は基礎になるものが多いので、しっかり身につけておくべきです。親がそばについてやるのもよいのですが、依頼心が強くなりかえってマイナスです。一人でやる習慣をつけ、ときどき質問したり、本、ノートを見て、その理解の深さをとらえることです。

③宿題について  
子どもは勉強の要領がわからず、自主的な学習といったら宿題からということになります。家庭で学校の進度以上に教えこむことは、学校の学習を油断する心配があり、注意を要します。

④塾、夜勉など  
このごろ習いごとが一種の流行になっていますが、学校が息つく場となるようでは赤ランプで、あくまでも学校での学習が中心であることを、父兄も子どももよく知っておかなくてはなりません。父兄は子どもたちの能力、心身の発達をよく知り、学習の内容を理解して、ひとりだちの学習ができるようはげましてやるのが大切です。

来年のタコ合戦  
6月5日11日  
白根市恒例の空の祭典、タコ合戦が、来年は六月五日（金）から十一日（木）までの七日間行なわれることになりました。

これは来年新潟に開かれる国体に合わせて盛大に開かれるもので、協会はじめ関係者は今から意気こんでいます。

社会保険庁長官から表彰  
白根市農業協同組合（九カ組合・代表者近藤宗一郎）は国民年金制度施行四周年記念行事の一つとして、抛出年金制度発足以来、つねに保険料納入組織の育成強化に積極性があつたこと、協会の納入成績がきわめて良好であったこと、このたび社会保険庁長官から表彰されました。

表彰を受ける代表者 近藤宗一郎氏

新潟県警察官募集  
採用予定人員 約一〇〇名  
採用予定期日 昭和39年4月1日  
受験資格年令 昭和12年10月2日から昭和20年4月1日まで  
に生れた男子（ただし昭和39年3月31日までに高校卒業見込みの者は昭和21年4月1日までに生れた者）  
③学歴 学歴は問わないが、高校卒業程度の学歴を有する者  
④給与 初任給一万二千三百円、他に諸手当、被服などを支給する  
⑤申し込み期日 昭和38年9月25日まで  
詳しいことは白根警察署または駐在所へお問い合わせください。

国保・世帯主に七割給付  
十月一日から実施  
市では来る十月一日から、世帯主（世帯主が職場保険に加入しているが、家族に国民健康保険の被保険者がいる場合は規則で定められた順序によって、一人を世帯主とみなされる）のかかったすべての病気にたいして七割給付（本人負担三割）を実施することになりました。

これにともない、現在の被保険者証を十月一日から新しいものに書き替えて交付いたしますから、現在被保険者証に記入されている家族に限りがあるか確かめてください。

中ノ川に消防用道路  
市では中ノ川に消防用道路（火災のとき、自動車ポンプの取水場所）を市内一ノ町二ノ町、魚町、能登二カ所の五カ所に工事を進めていきました。このほど完成しました。

この道路は火災の場合に使用するもので、ゴミなどが捨てられると、消火に使用することができず、係ではゴミを捨てないよう望んでいます。

ダイヤルを  
おまかせ  
くね

1階 事務室	市 民 課 出 納 課 農 業 課	課 室 課 健 康 課 保 護 課
2階 事務室	市 長 室 企 画 課 監 査 課	新 館 福 祉 課 教 育 課

市役所 (72) 2111~8  
【夜間】(72) 2111  
分 室 (72) 2217  
【夜間】(72) 2217